

## 平成24年度 第5回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成25年1月9日（水） 13:50～16:10
- 場 所 鳥取環境大学 大会議室（本部講義棟3階）
- 出席者 古澤巖理事長、河原正彦副理事長、田中洋介理事、道上正規理事、  
渡邊良人理事、山田憲典委員、林田英樹委員、吉田圭子委員  
[8名/10名]

### 【議事】

#### 1 前回議事要旨の確認

原案のとおり了承

#### 2 報告事項

##### (1) 近況報告

事務局から資料に基づき在籍者の状況、就職活動状況、入試実施状況等大学の近況について報告があった。

##### (2) 教員免許状更新講習の開設について

事務局から資料に基づき教員免許状更新講習の開設について報告があった。

委員による主な意見等は次のとおり。（○:質問・意見、→:回答 以下同様）

○本取り組みは鳥取県教育委員会との連携協力に関する協定に基づくものか。

→県教委との連携協力の一環でもあるが、公立大学としての地域貢献事業でもある。県教委だけではなく鳥取大学とも情報交換を行い、また、加計学園様からも様々な情報を得て実施計画をたてている。

#### 3 審議事項

##### (1) 自己点検・評価について

事務局から資料に基づき自己点検・評価についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

○改善すべき事項として記載された事への対応を的確に実施してほしい。

○教員の給与を改善する旨の記述がある。大学の質を高めるためにも、実現に向けて取り組んでほしい。

→鳥取県の公務員給与は全国的にも低い水準にある。よりよい大学とするためにも優秀な教員を集めることは必要である。学生定員を充足させた後、大学として適正な給与水準としたい。

○大学として大学院も早い時期に設置し、教育の質を高めてほしい。

## **(2) 平成24年度補正予算(第2回)について**

事務局から資料に基づき平成24年度補正予算についての説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

○学生が納める授業等よりも(大学の)人件費の方が多くなっている。この状態は安定的経営をしているといえるのか。

→公立大学は、授業料収入だけではなく運営費交付金による収入の比率が高いため、このような構造となる。公立大学の平均的な比率等を予算の審議時に参考情報として提示する。

○経営努力等により余剰金が生じた場合、大学で自由に使えるのか。

→評価委員会で承認されなければ使うことはできない。

→来年度は入学者の状況を勘案し、本審議会では職員給与のあり方等についての審議もお願いしたい。

## **(3) 公立大学法人鳥取環境大学役員報酬規程の一部改正について**

事務局から資料に基づき公立大学法人鳥取環境大学役員報酬の一部改正についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

## **(4) 公立大学法人鳥取環境大学職員給与規程の一部改正について**

事務局から資料に基づき公立大学法人鳥取環境大学職員給与規程の一部改正について説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

## **4 その他**

### **(1) 学長選考会議について**

事務局から学長選考会議について説明があった。

次回の経営審議会では委員の選任を行うこととなった。

### **(2) 職員給与に係る給料表等の改正について**

事務局から職員給与に係る給料表等の改正について説明があり、基本方針として了解された。